

パラディウム・ジャパン・トラストー

dbX-ウイントン・ パフォーマンス連動型ファンド (米ドル建／豪ドル建／円建)

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／限定追加型

交付運用報告書

作成対象期間 第8期

(2015年10月1日～2016年9月30日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

ドイチェ・アセット・マネジメント・エス・エー

代行協会

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

パラディウム・ジャパン・トラストーdbX-ウイントン・パフォーマンス連動型ファンド(米ドル建／豪ドル建／円建)(以下「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第8期の決算を行いました。サブ・ファンドの投資目的は、登録受益者に対し、(i)クラスA受益証券に対しては米ドル建の、(ii)クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、および(iii)クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、dbX-CTA5ファンド(以下「投資先ファンド」ということがあります。)への想定上の投資に連動するリターンを提供することです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
クラスA受益証券	1.3031米ドル	4,558,965米ドル
クラスB受益証券	1.5984豪ドル	4,309,394豪ドル
クラスC受益証券	124.51円	581,108,930円
第8期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
クラスA受益証券	1.68%	該当事項は ありません。
クラスB受益証券	3.12%	
クラスC受益証券	0.48%	

(注)騰落率は、受益証券1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

◀ 運用経過 ▶

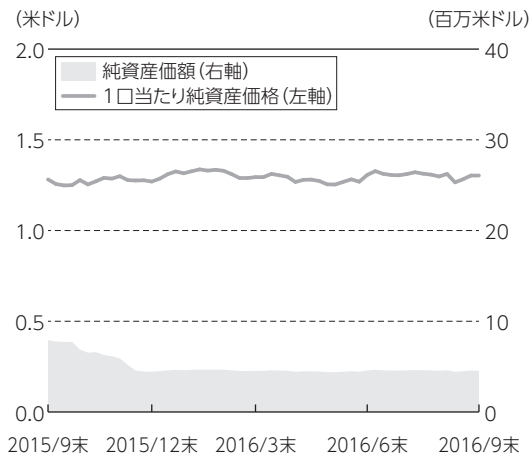
当期の1口当たり純資産価格等の推移について

(注1) サブ・ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

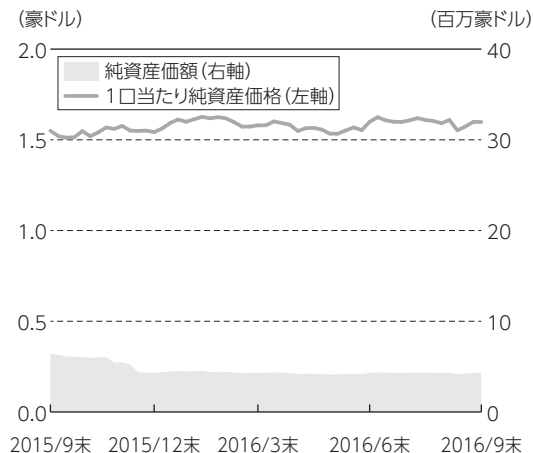
(注2) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

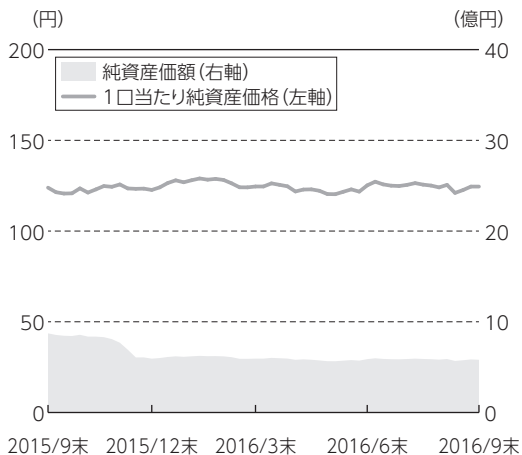
クラスA受益証券



クラスB受益証券



クラスC受益証券



	第7期末の 1口当たり 純資産価格	第8期末の 1口当たり 純資産価格	第8期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率
クラスA 受益証券	1.2816米ドル	1.3031米ドル	該当事項は ありません。	1.68%
クラスB 受益証券	1.5501豪ドル	1.5984豪ドル		3.12%
クラスC 受益証券	123.92円	124.51円		0.48%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

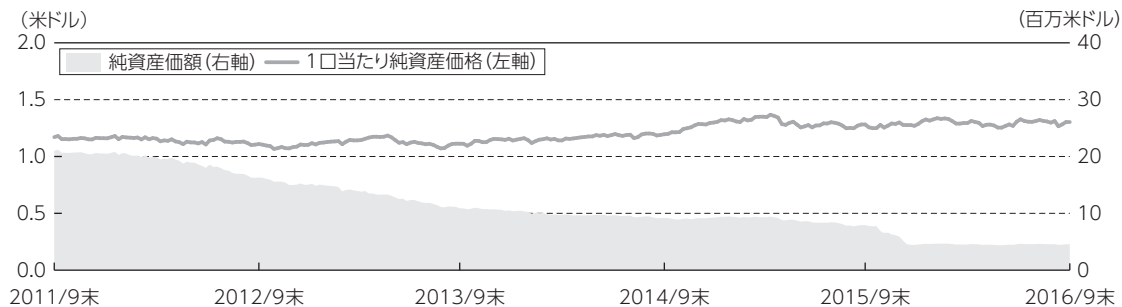
後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

費用の明細		
項 目	項目の概要	
固定報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.15%	固定報酬契約に基づく固定報酬代理人の業務の対価として、固定報酬代理人に支払われます。
販売会社報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.40%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の純資産価額に対し年率0.10%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
アレンジャー報酬	各評価日現在の発行済み受益証券の投資元本に対し年率0.70%	アレンジャー契約に基づくアレンジャーの業務の対価として、アレンジャーに支払われます。
その他の費用(当期)	0.00%	監査人の報酬および費用、評価費用、法務費用、パラディウム・ジャパン・トラストおよびサブ・ファンドの設定および継続開示に関する費用等(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬等)として支払われます。

(注)各報酬については、有価証券報告書に記載されている料率を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

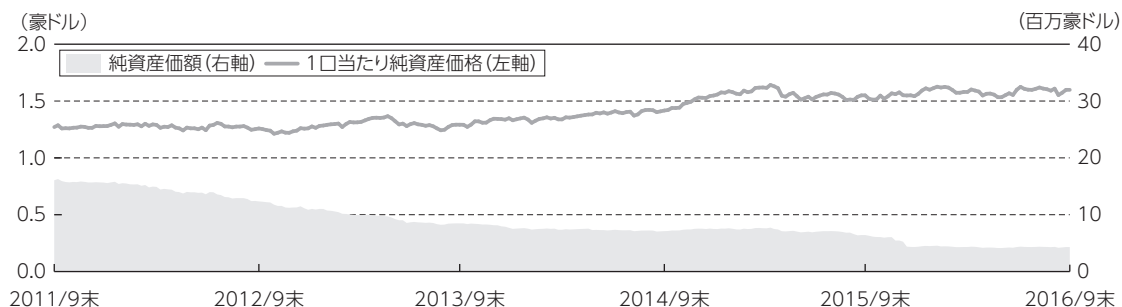
クラスA受益証券



	第3期末 2011年9月末日	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	1.1705	1.1094	1.1125	1.1956	1.2816	1.3031
1口当たり分配金額 (米ドル)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	7.72	-5.22	0.28	7.47	7.19	1.68
純資産価額 (米ドル)	21,034,771	16,312,778	10,882,121	9,181,805	7,923,942	4,558,965

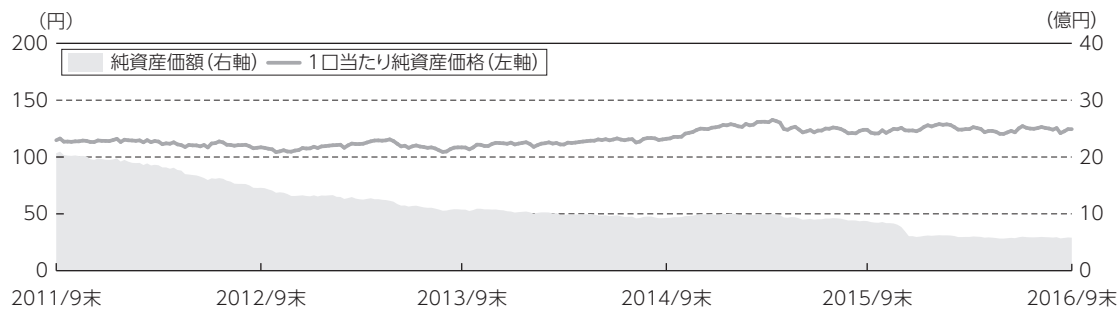
(注) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。以下同じです。

クラスB受益証券



	第3期末 2011年9月末日	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	1.2709	1.2587	1.2916	1.4165	1.5501	1.5984
1口当たり分配金額 (豪ドル)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	12.55	-0.96	2.61	9.67	9.43	3.12
純資産価額 (豪ドル)	16,066,691	12,340,268	8,474,575	7,109,617	6,420,837	4,309,394

クラスC受益証券



	第3期末 2011年9月末日	第4期末 2012年9月末日	第5期末 2013年9月末日	第6期末 2014年9月末日	第7期末 2015年9月末日	第8期末 2016年9月末日
1口当たり純資産価格 (円)	114.76	108.55	108.46	116.02	123.92	124.51
1口当たり分配金額 (円)	-	-	-	-	-	-
騰落率 (%)	6.33	-5.41	-0.08	6.97	6.81	0.48
純資産価額 (円)	2,067,835,033	1,458,068,115	1,074,398,969	927,714,498	872,425,061	581,108,930

投資環境について

後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

ポートフォリオについて

2015年10月1日から2016年9月末日までの第8期のサブ・ファンドの運用成績はそれぞれ、米ドルベースで+1.68%、豪ドルベースで+3.12%、円ベースで+0.48%でした。

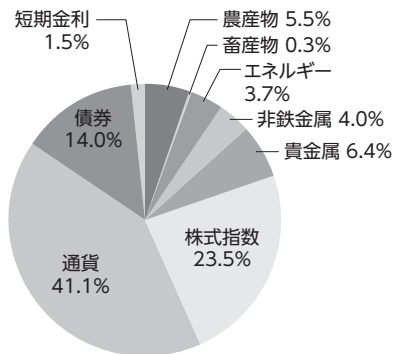
市場環境

- 当期の債券・短期金利市場は、2015年12月に米連邦準備理事会(以下「FRB」といいます。)が9年ぶりとなる利上げに踏み切ったものの、翌年1月および2月には各国の中央銀行が追加金融緩和策をほのめかしたため、金利の低下トレンドが形成されました。その後、3月から5月にかけて米利上げの機運が高まったことや中国経済に対する懸念が和らいだことで金利は上昇しましたが、6月の英国のEU離脱に関する国民投票の結果を受けて世界株式市場が急落し、債券・短期金利市場の金利は再び大きく低下しました。期末にかけては再びFRBの利上げ観測が強まり、債券市場は下落しました。エネルギー市場においては、原油価格が2015年の年末にかけて米金利の利上げ観測の高まりを受けて下落し、2016年の年初も原油在庫の増加やイランに対する経済制裁解除を背景に継続的に下落しました。一方で3月から期末に至るまでは、中国経済に対する懸念緩和や、OPEC会合での原油減産合意の行方を巡って原油価格は下落する局面もあったものの全体としては上昇して終わりました。
- 当期の株式市場は、2015年10月から12月にかけて上昇しましたが、2016年1月および2月には世界経済に対する懸念が広がり、世界の株式市場は軒並み下落することとなりました。その後は英国のEU離脱の決定を受けて再び株式市場が急落する局面があったものの、当期末にかけて徐々に回復しました。

投資先ファンド(dbX-CTA5ファンド)の運用状況について

- 当期は、株式指数セクターでは市場の急反転や揉み合いによって苦戦したものの、債券および短期金利市場を中心に価格のトレンドが形成され、全体としてはプラスのパフォーマンスで終わりました。最もプラスに寄与したセクターは債券セクターでした。次いで、短期金利セクター、エネルギーセクター、通貨セクター、畜産物セクターの順で投資先ファンドの収益に貢献しています。一方で株式指数セクターが最もマイナスに寄与した他、貴金属セクターや非鉄金属セクター等からも若干の損失を計上しています。
- 債券・短期金利セクターでは、期中を通じて米利上げに対する期待感から度々損失が発生しつつも、2016年の年初の世界経済の健全性に対する懸念や6月の英国のEU離脱の国民投票の影響も相まって世界の株式市場が大幅に下落する中、価格の上昇トレンドが形成され、投資先ファンドにおいて収益を獲得しました。
- エネルギーセクターでは、利上げ観測の弱まりやOPEC会合での減産合意で売り建てのエクスポージャーが苦戦する場面もありましたが、2015年の終わりから2016年の初めにかけての原油の在庫増加や米金利の上昇に伴う価格下落から収益を確保しました。
- 株式指数セクターに関しては、期初の世界市場の上昇時には売り建てのエクスポージャーから損失が発生し、その後の2015年12月の米利上げ、2016年1月の世界株式急落、同年6月の英国のEU離脱の国民投票影響時には買い建てのエクスポージャーがマイナスに寄与したために損失を計上しました。
- 投資先ファンドの投資助言を行うウィントン社では、より優れた運用プログラムを開発する為に継続的に研究開発を続けています。

投資先ファンドのセクター別委託証拠金比率*
2016年9月27日現在



*過去4週間の平均値(概算)

パフォーマンス・ポートフォリオの推移(米ドル建) 2009年8月4日～2016年9月末日



分配金について

該当事項はありません。

《今後の運用方針》

受益者に対して、「①クラスA受益証券に対しては米ドル建の、②クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、③クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、投資先ファンドへの想定上の投資に連動するリターン」を提供するという当初の方針に変更はなく、これらを達成するために、サブ・ファンドは今後も運用を行っていく方針です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

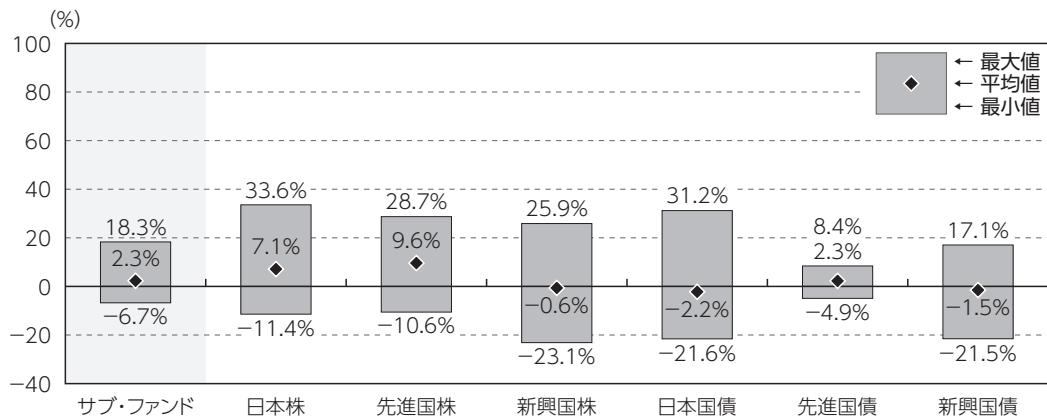
《サブ・ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託/限定追加型
信託期間	サブ・ファンドは、定められた事由により終了しない限り存続します。なお、サブ・ファンドの最終償還日は、2019年10月31日(ただし、純資産価額の決定が停止された場合には、停止終了日の翌営業日)の予定です。
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、登録受益者に対し、(i)クラスA受益証券に対しては米ドル建の、(ii)クラスB受益証券に対しては豪ドルにヘッジされた、および(iii)クラスC受益証券に対しては日本円にヘッジされた、投資先ファンドへの想定上の投資に連動するリターンを提供することです。
主要投資対象	パラディウム・セキュリティーズ・ワン・エス・エイにより発行され、サブ・ファンドの最終償還日の約1暦月前に満期を迎える予定の各シリーズの債務証券(以下「本社債」といいます。)
ファンドの運用方法	投資目的を達成するために、サブ・ファンドの各クラス受益証券は、(準備金、費用および設立費を控除後の)当初資産の全部を、債務証券および受益的株式のためのプログラムに基づいて、本社債に投資しました。
分配方針	サブ・ファンドの存続期間中、分配金は支払われません。

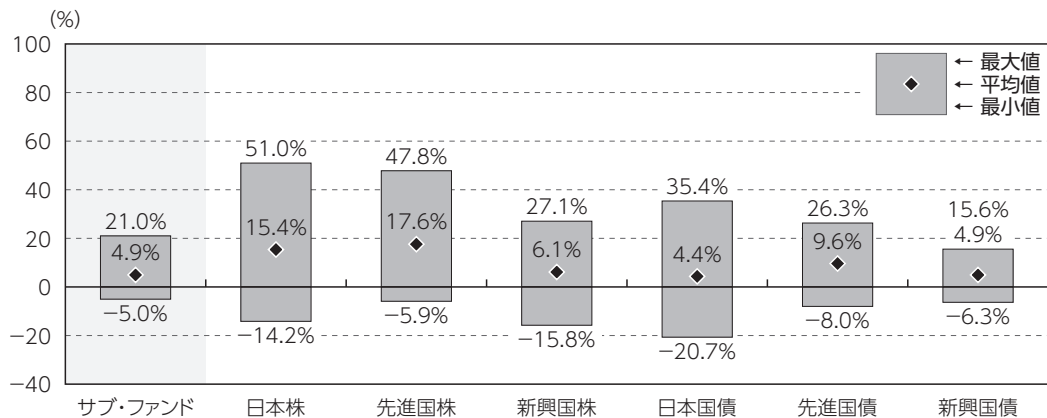
(参考情報)

● サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

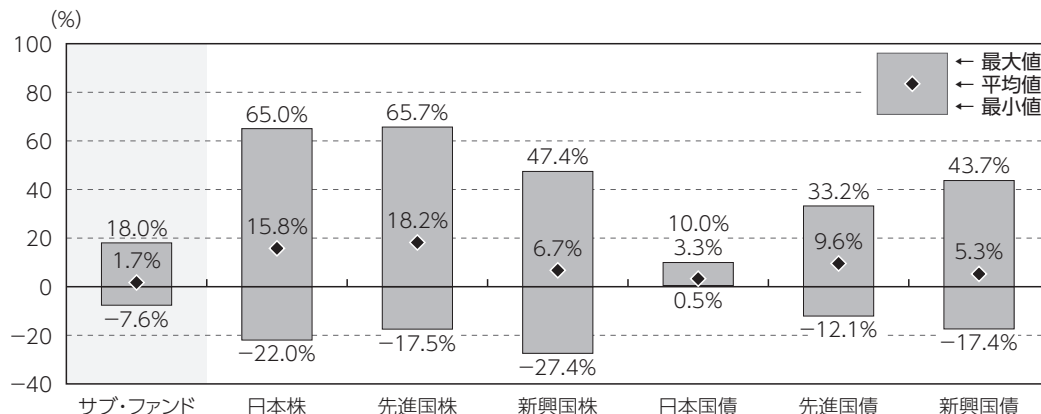
クラスA受益証券



クラスB受益証券



クラスC受益証券



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがサブ・ファンドの投資対象とは限りません。

※サブ・ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2012年2月から2017年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、サブ・ファンドの騰落率の計算に際しては、3月および9月の受益証券1口当たり純資産価格については会計年度末および半期末の数値を、その他の各月末の受益証券1口当たり純資産価格については原則として当該月の最終火曜日の数値を用いています。

※このグラフは、サブ・ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

クラスA受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

クラスB受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

クラスC受益証券

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

《サブ・ファンドデータ》

サブ・ファンドの組入資産の内容

● 組入上位資産

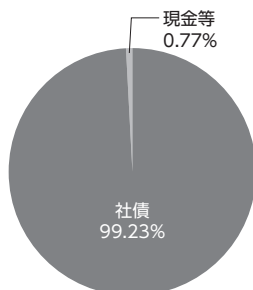
(組入銘柄数: 3銘柄)

(2016年9月30日現在)

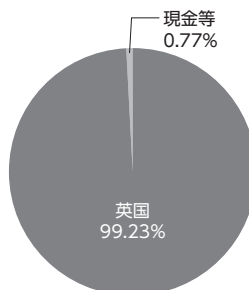
銘柄	通貨	組入比率
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	円	41.87%
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	米ドル	33.21%
PALLADIUM SECURITIES 1 0% 09-30.9.19	豪ドル	24.14%

(注)組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。端数調整方法の相違により、運用報告書(全体版)に記載されているサブ・ファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下の各グラフも同様です。

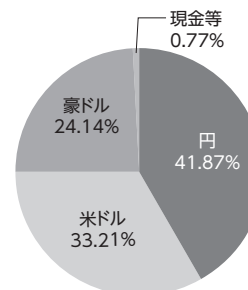
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1)組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2)上記の比率は、純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

純資産等

第8期末			
クラス名	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
クラスA受益証券	4,558,965米ドル	3,498,600口	1.3031米ドル
クラスB受益証券	4,309,394豪ドル	2,696,100口	1.5984豪ドル
クラスC受益証券	581,108,930円	4,667,500口	124.51円

(単位:口)

第8期中			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
クラスA受益証券	0 (0)	2,684,200 (2,684,200)	3,498,600 (3,498,600)
クラスB受益証券	0 (0)	1,446,200 (1,446,200)	2,696,100 (2,696,100)
クラスC受益証券	0 (0)	2,373,000 (2,373,000)	4,667,500 (4,667,500)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。